
TALES OF CRIMSON:世界観&キャラ紹介

Lisa+°

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

T A L E S O F C R I M S O N ..世界観&キャラ紹介

【Nコード】

N 4 4 9 1 G

【作者名】

L i s a + 。

【あらすじ】

ここでは『T A L E S O F C R I M S O N』の世界観や登場人物についてを詳しく紹介します。本編で書かれた事や裏設定などを載せていく予定です。これを読めば、もっと『T A L E S O F C R I M S O N』の世界が分かるようになるはず（笑

最初に

『TALES OF CRIMSON』をもっと詳しく紹介したい
なと思って、開設しちゃいました。

主要メンバーや敵勢力、用語辞典などを出来るだけ分かりやすく紹
介していきたいと思います。

区切りの良い時や行き詰まった時にこちらを更新させていく予定で
すので、よろしかったらご覧になってください。

Heads

{†Profile†} No. 1

名前／ヒース

性別／男性

年齢／不明

クラス／剣士

ポジション／前衛

武器／剣、刀

戦法／剣術

一人称／俺

出身地／不明

誕生日／不明

身長／172cm

体重／58kg

血液型／AB型

弱点／不明

趣味／稽古

好きな食材／魚系すべて、ミルク

嫌いな食材／不明

その他備考／記憶喪失

容姿／茶髪紅眼

属性／不明

パラメータ／

攻撃…6 魔攻…1

防御…8 魔防…6

体力…7 知能…7

俊敏…10 精神力…9

幸運…3

Internal Parson

■性格

感情をあまり表に出さず、決して笑う事のないクールな少年。

警戒心がかなり強いせいか、初対面の相手には特に冷たい態度を見せる。そのため、周りからは冷淡な性格だと思われがちであるが、実は常に仲間の事を気遣っており、冷たい言葉で突き放すが本当は放っておけない心優しい性格をしている。エルとの出会いで、少しずつ本来の自分を取り戻している。

また、記憶喪失であるため知識欲があり、とても好奇心旺盛な少年でもある。しかし、記憶のないせいで酷く自分を追い詰めて自分は何者なのかと、時折寂しげな表情を見せる事がある。それでいて、自分の事情に相手を巻き込みたくないという気持ちが強く、不安や悩みを誰にも打ち明けずにいる事が多い。

その冷めた性格と端麗な容姿から、かなりモテてしまうのだが、本人があまりそういう事に興味がないというか、気付いていないせいで全く自覚がない。普段において勘は鋭い方なのだが、恋愛に関してはかなり鈍いようなので、その度にエルは困惑している模様。

○ヒースの術技一覧

マジケン

・魔神剣

特技 属性… | TP…4

前方に地を走る衝撃波を放つ技。空中にいる敵には当たらないが、遠距離にいる敵に当てる事が出来る。

コゲツセン

・弧月閃

特技 属性… | TP…6

月を描くように剣を振り上げる技。敵を浮かせる効果がある。

・コガハザン虎牙破斬

特技 属性… | TP…12

飛び上がって敵を剣で斬り上げ、その後空中で追撃して斬り下ろす技。隙が極端に少ない優秀な技。

・ヒエンレンキヤク飛燕連脚

特技 属性… | TP…10

空中に飛び上がって回転蹴りを食らわせる技。空中にいる敵に効果的な技。

・ゼッショウハ絶翔破

特技 属性… | TP…8

勢いよく膝で蹴り上げる攻撃する技。敵を浮かせる効果がある。

・ヨウソウシュウゲキ鷹爪襲撃

特技 属性… | TP…12

空中に飛び上がって地上に急降下して攻撃する技。蹴りの反動で敵と間合いを取る事も出来る。

・シンセンコウ獅子戦吼

奥義 属性… | TP…15

気を集中して体に纏う闘志を拳に込め、それを獅子の形に象^{かたど}らせて敵に向けて放つ技。ダウン効果がある。

El Flord

†Profile† NO. 1

名前／エル・フールド

性別／女性

年齢／16歳

クラス／見習い魔導士

ポジション／中衛

武器／杖

戦法／攻撃魔法

一人称／あたし

出身地／光葉の村アウザ

誕生日／7月10日

身長／158cm

体重／43kg

血液型／O型

種族／人間

弱点／蛇などの爬虫類

趣味／読書

好きな食材／ミルク、チーズ

嫌いな食材／トマト

その他備考／―

容姿／碧髪緑眼

属性／不明

パラメータ／

攻撃…3 魔攻…8

防御…5 魔防…9

体力…4 知能…8

俊敏…6 精神力…7

幸運…7

(Internal Parson)

■性格

自然豊かなアウザの村で育った明るく前向きな少女。

その性格から友達も多く、特にジェーンとリリーナとは大の仲良し。普段はおつちよこちよいでぼんやりしている彼女なのだが、意外にも人の微かな感情の変化を見抜く洞察力が備わっており、それは無表情なヒースの心情を読み取ってしまう程のものである。しかし、人を疑う事がないお人好しなので、少し騙されやすい性格でもある。村を守りたいという想いから魔法を覚え始め、村に入り込んだ魔物は主にエルが退治しており、村人から頼れる少女とされている。けっこう頑張り屋で才能も根性もあったので、魔法を覚えるのも普通より速かったようだ。しかし、守るために相手に攻撃しなければならぬという事で、過去に影でいろいろと思悩んだ事もあるという。

山賊に連れ去られた時にヒースに助けてもらい、その時から彼に淡い恋心を抱いている。そのため、ヒースの記憶の手掛かりを探す手伝いをしたいと思っており、健気に彼を支えようと頑張っている。そんな彼女の優しさにヒースの心も少しずつ変わりつつあるようだ。

○エルの術技一覧

・ファイアボール

初級 属性…火 TP…6

対象となる敵に向かって火炎弾を発する攻撃魔法。最初から習得。

詠唱「燃え揺らぐ赤き火球。」

・アイスウォール

初級 属性…氷 TP…8

対象となる敵の地面から、鋭利な氷の壁を発生させる攻撃魔法。最初から習得。詠唱「氷塊よ。行く手を阻み、敵を貫け。」

・ピコハン

特技 属性… TP…4

敵の頭上にピコピコハンマーを落とす技。高確率で敵を気絶させる。最初から習得。

・アクアエッジ

初級 属性…水 TP…7

小さな水流を起こし、その水圧で敵を斬る攻撃魔法。

詠唱「流るる雫、牙となりて敵を穿て。」

・ウィンドカッター

初級 属性…風 TP…6

対象となる敵の周囲に風の刃を発生させる攻撃魔法。

詠唱「空を駆け抜けし一陣の風。」

・サンダースピア

初級 属性…雷 TP…10

前方に向けて雷撃を放ち、対象となる敵を射抜く攻撃魔法。

詠唱「闇夜を貫け、雷光の嘶いみなき。」

・ツインタスク

特技 属性… TP…6

素早く二連続で敵を斬りつける技。氷の聖剣を入手後、習得。

・グレイブ

初級 属性…地 TP…9

対象となる敵の足元から鋭利な岩の塊を発生させる攻撃魔法。

詠唱「堅き地晶、我が敵に矛先を向けよ。」

・スノードロップ

特技 属性…氷 TP…10

空中に飛び上がって、敵の頭上に雪の塊を落とす技。

・アイシクルレイン

中級 属性…氷 TP…18

対象となる敵を中心に鋭利な氷を降らせる攻撃魔法。

詠唱「冷たき刃、大気をも凍らせて雨の如く降り注げ。」

F i n d i l C a r m e s

〔†Profile†〕 No. 1

名前／フィンドイル・カームネス（愛称…フィン）

性別／男

年齢／16歳

クラス／見習い修道士

ポジション／後衛

武器／杖

戦法／回復魔法、補助魔法

一人称／私

出身地／カトライナ王国

誕生日／11月24日

身長／167cm

体重／54Kg

血液型／A型

種族／人間

弱点／高い所（高所恐怖症）

趣味／読書

好きな食材／チキン、カボチャ

嫌いな食材／にんじん

その他備考／実は怪力

容姿／金髪空眼

属性／不明

パラメータ／

力…10 魔力…9

防御…3 魔防…7

体力…4 知能…9

俊敏…5 精神力…6

（Internal Parson）

■性格

控えめで大人しい性格。誰に対しても敬語を使っており、とても礼儀正しい少年である。

やや消極的なのであまり本心を語らないのだが、親しい人や尊敬できる人には自分の想いをきちんと伝えられる。ただ単に人見知りなだけなのだと思う。意志が固く、意外と頑固なところもある。幼い頃は裕福な家庭で育ったためか、修道院に来る前は少々我が儘な性格でもあったらしい。しかし、病弱な兄を常に心配していた事から、やはり心根は優しい少年であった事が窺える。

両親たちをファルガーナに殺された過去を持っているので、彼ら――魔族全体への憎悪が人一倍強い。しかし、修道士という立場上、リディアンヌ教の教えを守っているのも、あまり態度には表さない。だが、たまに彼らの事を話す時に垣間見る言動や表情から、心の底では相当恨んでいるのは間違いないようだ。

エルと同じく読書が趣味なので、広い知識を持っていてかなり博識である。魔術に関する知識はエルと同等だが、一般常識についてはフィンの方がずっと上。そんな彼から学ぶ事は多いようで、ヒースはよく質問している。

○フィンの術技一覧

・ファーストエイド

初級 属性…― TP…6

味方一人の体力を回復させる治癒魔法。最初から習得。

詠唱「癒しの光よ。」

・エナジーブラスト

初級 属性…無 TP…8

対象となる敵の位置に小規模な爆発を発生させて攻撃する攻撃魔法。
最初から習得。

詠唱「輝けし光の瞬き。^{またた}」

・シャープネス

初級 属性… TP…7

味方一人の攻撃力を一定時間上昇させる補助魔法。

詠唱「奥底に眠りし、満ち溢るる力。」

・バリアー

初級 属性… TP…7

味方一人の防御力を一定時間上昇させる補助魔法。

詠唱「虹色の盾よ、彼の者を護りたまえ。」・チャージ

初級 属性… TP…10

味方一人に自分のTPを分け与える治癒魔法。

詠唱「我が身に宿りし力、彼の者に授けよ。」

・リカバー

中級 属性… TP…15

味方一人の状態変化を打ち消す治癒魔法。

詠唱「清き力よ、穢^{けが}れを祓いたまえ。」

用語辞典

・光葉の村アウザ「地名」

ミピエージェ大陸北部に位置する人口500人程の小さな村。

牧牛、牧羊が盛んな村で、世界的にはミルクが特産物。また、乳製品の産業も有名なため、アウザで作られるチーズやヨーグルトは『グレイス・アウザ』というブランド名がついており、高級食材として世界中に出荷されている。

王都からかなり離れているせいか、この村の出身者を田舎者と呼ぶ者もいる。さらに情報通達も遅いので、世界情勢に疎い事もしばしば…。しかし、そのおかげで治安が物凄く良く、犯罪は滅多に起こらない。

最近では過疎化が深刻化しており、年々人口が減少している事が問題視されている。

・ハイドラの森「地名」

アウザの村に隣接する森林地帯。主に針葉樹が多く生い茂っている。

昼間は木漏れ日が差し込む明るい森で、魔物もさして強いものはおらず危険は少ない。しかし、夜になると狂暴な魔物が徘徊し、奥に行けば行く程その強さが増すという。

アウザの村人たちはあまりこの森に入ろうとしないが、子供たちはよくこの森で川遊びや木の実拾いなどをして楽しんでいたようだ。

・魔法「術」

大氣中に溢れる自然界の精氣^{リズベル}を操り、様々な現象を起こす術の事。術者の精神を以て精氣を体内に引き付け、魔力によって精氣を解放するのが魔法の基本。魔術とも呼ぶ。

・魔導士「クラス」

魔法を操る者の事。魔力を持ちつつ、それを操る力があれば魔導士の卵といえる。ちなみに魔力というのは、精氣リスベルを体内に宿せる値の事を指す。それを精神力によって操るので、下手に魔力を使い過ぎると気を失ってしまう事もあるので注意が必要。

また、魔導士は精神を自然界と同調させる事によって、魔力を持たない人には見えない下位精霊を見たり会話をしたりする事ができるという。魔法の詠唱はそんな精霊たちへの語り掛けを意味しているらしい。

・ファード・フラールド「人名」

エルエルの祖父。後にエルとは血が繋がっていないと判明したが、彼女は変わらずファードを”おじいちゃん”と呼んで慕っている。茶目っ気たつぷりの可愛らしい性格をしている。

若い頃は有名な冒険家であつたらしく、さまざまな土地へ仲間と共に冒険をしていたという。そのため、自宅の倉庫には数々の貴重な品が眠っている。

20年前に妻サマンサを亡くしているが、ファードは彼女だけを愛し続けて再婚せず今に至っている。そんな妻を失っている中で現れたエルは、ファードにとって希望をもたらす光のような存在であつたのだろう。

・ファルガーナ「組織名」

突如、世界に侵略を開始した巨大組織。十数年前、とある都市が襲撃を受けて滅んだ事により、この組織の仕業である事が判明して世界中にその名が知れ渡つた。しかし、その目的、意図などは未だ詳しい事は謎に包まれている。ヒースはこの組織に追われているが、その理由もまだ分かっていない。

統率者ゼアベスの命令の下、正確な数は確認されていないが相当な人数で構成された組織のようである。構成員のほとんどが”魔族

”と呼ばれる種族で占められており、国家の軍隊と同等に争う程の戦力がある。

また、ゼアベスの直属の配下である八人の大幹部は「八闘神」と呼ばれており、個々に高い戦闘能力を持っているという。その能力は未知数であるが、話に寄れば一人で軍の一個中隊分の力はあると言われているらしい。

・賊やゴロツキ「呼称」

世界各地で暴れ回っている無法者たちの事。一般人や商人を襲って金品を盗む者や、村や町を焼き払って物を奪い去る物など、様々な手段を取る者がいる。主に組織化しており、団体で行動する者が多いようだ。

最近では、ファルガーナに金で雇われる事が増えたようで、その勢力を強めていつている。国はファルガーナの事で手一杯なので、悪名高い賊やゴロツキには報奨金が掛けられている。また、その賞金を得て生計を立てる「ハンター」という職業の者もいる。

・ジェーン・バーンスタイン「人名」

アウザの村に住む少女。エルとは同じ年で幼なじみであり、仲の良い親友である。

頼られると快く面倒を見てくれる姐御肌な性格であり、エルやリリーナにとってはお姉ちゃん的な存在。実はなかなかの男勝りな性格で、幼い頃は村の中で男の子たちにも喧嘩で負けた事がなかったくらい強かった。

ジェーンは性格も良く美人なのだが、そんな幼少時代のせいもあって村の少年たちはなかなか彼女に告白する事が出来ないという。ジェーン自身も自分より弱い男はお断りとの事だ。

最初の頃、リリーナと同じく初めて会ったヒースに一目惚れした。

・リリーナ・ベイトール「人名」

アウザの村に住む少女。エルとは一つ年上の17歳で幼なじみであり、仲の良い親友である。

ほんわかとした優しい性格をしており、小鳥が大好きで家で帰っているカナリアのピピちゃんを大切にしている。手先がとても器用で料理や裁縫が得意であり、不器用なエルとジェーンはそんな彼女に密かに憧れを抱いていた。

実はリリーナの鼻の上には可愛らしい雀斑そばかすがあるのだが、彼女はこれをかなり気にしているらしい。

最初の頃、ジェーンと同じく初めて会ったヒースに一目惚れした。

・ポイズンスパイダー「魔物」

世界の殆どの地域に生息している肉食の虫類の魔物。牙と爪に毒性があるので、噛み付かれたり引っ掻かれたりすると、毒を受けてしまう事がある。単体では弱いですが、集団で襲われると厄介。素早く獲物を取り囲もうとするので、戦う時は背後に回られないように気を付けよう。

たまにこの魔物の雌が突然変異を起こし、通常の数倍より巨大化する時がある。ちなみに、ヒースとエルが最初に戦ったのがそれである。

・予言者「クラス」

”時”を司る精氣リズベルの流れを感じ取り、未来に起こる様々な出来事を先読み力を持つ者。

本来、”時”の精氣を操る事は大変難しい事であり、先天的な能力を持っていない限り予言を行う事が出来ない。それ故に、元々素質がない者がどれだけ修行しても、”時”の精氣を操る術を習得する事は出来ない。そういう訳で予言の能力を持つ者は極めて少なく、世界に数人しかいないと言っても過言ではない。そんな中ファードの話によると、エルの母はこの数少ない予言者であったようだ。

また、”時”の精氣は他の精氣と違って物質ではないので、専門

家の間では本当にあるのか議論されている。”時”の精氣は論理的には存在すると言われているが、科学的には存在するとまだ立証されていない。

・魔法具「品名」

リスベル精氣を人工的に宿らせた道具。本来は魔力を持たない人のために開発された。

一般的に日常生活に使われているものや専門的に特別なものや大型なものなど、世間に幅広く使用されている。例えば、”雷”の精氣を使用した自動式ランプ、”癒”の精氣を使用したオートヒーリング装置など。

・ソーサラーリング「品名」

魔法具の一種。ファードが若い頃冒険家をしていた時に手に入れた貴重品であり、旅立つエルたちに彼から譲られた。

見た目はシンプルなデザインをした銀の指輪で、中心には半透明の虹色掛かった輝きを持つ石が埋め込まれてある。この石は精氣リスベルの結晶石であり、念じると小さな火の玉が飛び出す。実はこれ以外にも様々な能力があると言われている。

精氣のみで結晶化するにはかなり高密度な精氣で加工する必要があるので、世界的にもそう多く存在しない大変珍しいリングなのである。

・サマンサ・フラールド「人名」

ファードの亡き妻。享年49歳。若い頃はファードとその仲間たちと共に、様々な危険な地を冒険して回っていた。少々気が強かったらしいが、聡明で博愛に満ちた女性であったという。

魔導の研究者でもあったようで、古代に失われた魔術をも自在に操った有名な魔導士であつたらしい。その道の者に彼女の名を知らない者はいない。弟子入りを希望する者が後を絶たなかったそうだが、彼女は全て断つたらしい。しかし、彼女にもたった一人だけ愛

弟子がいたという噂があるが真相は不明。

・サマンサの魔導書「品名」

ファードの妻サマンサが書き残した魔導書。魔法について初歩的な内容から上級者向けの内容まで、とても詳しく記載されている。彼女が直に筆記したものであり、世界に唯一の魔導書ともいえる。冒険の合間にエルが少しずつ読み進めており、今では彼女の愛読書となっている。

実は魔法で隠されたページなどもあり、サマンサが研究した精気や魔法についても書かれてある。さらに、そこには封印された古代の魔法に関しての情報も記載されているそうなのだが――。

・ジョン・マーリンズ「人名」

エルが敬愛している憧れてやまない魔導士。魔導の指南書の著者で、エルは彼の本を頼りに独学で魔法を覚えた。ちなみにエルは彼が書いた本は全て読破しているという。

しかし、彼の素性は謎に包まれており、名前と性別以外は誰も何者であるか分からない。ただ、これだけの知識がある魔導士なのだから、かなり年齢が高いのではないかとエルは推察している。

・ルピの木「名称」

ハイドラの森のみに生息する針葉樹。木独特の優しい香りがあり、芳香剤としても使われる。アウザの村では神木とされている。

エルが旅立つ時に、彼女の親友のジェーンとリリーナがこの樹皮で作ったお守りを手渡している。今はエルの革袋の中に大切にしまわれている。

ちなみに、この木の樹皮を乾燥させて粉末状にさせると、万能薬を調合させる材料となる。そのため、薬剤師の間では高額で取引されているらしい。

・精氣^{リスベル}「名称」

この世界にあるものの全てに宿る自然の力の事。^{リスベル}精氣はこの星全体を膜のように覆っており、それ故どこにでも存在している。星の生命力そのものとも言われている。

魔法は主にこの精氣を使って起こす術であり、魔導士にとって精氣はとても重要なもの。精氣には属性があり、火・水・風・地・雷・氷・光・闇と、全部で八つあるという。しかし、これらはあくまで大まかに分けたものであり、精氣には他にも様々な種類があるらしい。

最近では、この精氣を利用した道具が普及され、それらは主に”魔法具”と呼ばれている。

・漁礁の町サウオーレ「地名」

ミピエージェ大陸中部に位置する人口五千人程の小さな港町。海と隣接した町なので水産業が盛んであり、いつでも新鮮な魚を食べる事が出来る。市場からは海から戻った漁師の威勢のいい声が聞こえ、人口の割に賑やかな町である。

・アップルグミ「品名」

滋養効果のあるゼリー状の薬品。食べると体力が回復する。果汁で甘く味付けされているので、薬品の中では比較的食べやすい。普通の道具屋には必ず置いてあるものであり、旅に役立つアイテムとして広く知られている。初級治癒魔法の”ファーストエイド”と同じ効果を持つ。

アップル味の他にも、オレンジ味やレモン味などがあり、味によって値段や効果が異なってくる。

・パナシアボトル「品名」

味方一人の戦闘不能以外の状態異常（毒、麻痺、衰弱、鈍足、封印、石化）を回復させる薬品。中級治癒魔法の”リカバー”と同じ

効果を持つ。

ちなみに味はグミと違って、少々苦いらしい。

・ライフボトル「品名」

ガラス製のビンに入った生命の水。戦闘不能の味方を復活させる。上級治癒魔法の”レイズデッド”に近い効果を持つ。

・氷の神殿「建物」

ミピエージェ大陸西部に位置する古代の建造物。最深部には氷の精霊王セルシウスが眠っている。かなり大昔からある建物のように、内部は様々な仕掛けが施されている。

毎年6月にはたくさんの旅人がここを訪れ、一番奥にある部屋（氷姫の間）で旅の安全を祈願すると、氷の精霊の加護を受けてその一年間は無事に旅を続ける事が出来るという言い伝えがある。

しばらくはファルガーナによって占拠されていたのだが、ヒースとエルの活躍により駐留軍は壊滅させられた。

・氷の聖剣「装備品」

氷の神殿の最深部に封印されていた強大な魔力を秘めた剣。氷の精霊王セルシウスによって創られたもので、氷属性の精氣リスベルのみで形成されているという。刀身は水晶のように透き通っており、柄には菱形のサファイアが埋め込まれている。

剣はセルシウスが認めた者しか台座から抜く事が出来ず、それ以外の者がいかなる力を以て抜こうとしてもびくともしない。邪悪な心を持つ者がこの剣に触れようとすると、その身に災いを刻まれるといわれる。

エルの場合、瀕死のヒースを助けたいという直向ひたむきな心がセルシウスに認められ、この剣を抜く事が出来た。氷の聖剣の持ち主となったエルだが、彼女以外はこの剣を扱う事は出来ないらしい。

ちなみに氷の聖剣の本当の名は『氷皇クリスタルレイヴァー』。

東名では『氷皇』、西名では『クリスタルレイヴァー』と呼び名が分けられている。

・戦闘員「呼称」

主にファルガーナの一般兵士の事を指す。組織全体では一番階級が低い、その中で下級兵士、中級兵士、上級兵士などと、さらに細かく分類されているらしい。一人一人では大した戦闘能力はないが、集団で行動している事が多いため侮ってはいけない。ファルガーナの構成員のほとんどが”魔族”と呼ばれる”人間”とは異なった種族であるらしい。

・ギリアム・ゲルソン「人名」

ファルガーナの下位幹部の一人で、大剣使いの髭面の大男。『氷の聖剣』発掘の指揮官を担当していたが、ヒースとの戦いにあつさと敗れて逃げ出した。

やや野心家な生活であるが、見た目に反して小心者なのでなかなか昇格する事が出来ない。

・八闘神「呼称」

ファルガーナの組織そのものをまとめる八人の大幹部。個々に高い戦闘能力を持っており、主に最重要任務に就いている。統率者ゼアベスの直属の部下といえる。

また、その者に相応しい二つ名をゼアベスから与えられている。

・フェンリル「精霊」

氷の精霊王セルシウスによって創られた高位精霊。巨大な狼のような姿をしており、雪の如く白い毛に水晶を思わせる鬣たてがみが印象的な精霊である。セルシウスに代わって『氷の聖剣』の守護者となっていた。

鋭い爪と牙が武器。かなりスピードがあり、その速さはヒースと

並ぶ程のものである。

元来、精霊は魔力のない者には見えないのだが、フェンリルは高密度な精氣^{リスベル}での存在なので、ヒースにも目で見える事が出来た。

・精霊王「呼称」

世界へと精氣^{リスベル}を生み出し、それを安定させる者の事。世界を守護する役目も担っているなので、彼らを”世界の柱”と称される事もある。全ての精霊の中では最高位であると考えられている。

精霊王は確認されているだけで、火、水、風、地、雷、氷、光、闇の属性を持った者がいる。しかし、この他の属性の精氣^{リスベル}が存在している事を考えると、他の属性の精霊王も存在しているのではないかと推測されている。

・セルシウス「精霊」

氷の神殿の最深部の奥にある隠し部屋（雪華姫の間）にて眠っていた、精霊王の一人。氷属性の精氣^{リスベル}を統べし者であり、氷属性の中では最高位の精霊に当たる。

威厳に満ち溢れた風格を持っているが、本来は人間にも好意的な優しい性格の精霊である。言葉遣いは古風な話し方をする。また、女格闘家の姿をしており、氷の魔法と格闘技を織り交ぜた戦法を得意としている。

高位の氷の精霊「フェンリル」や聖剣「氷皇クリスタルレイヴァー」を創った者でもある。彼女自身も、元は氷を司る精氣の結晶体である。

・金色の腕輪「品名」

ヒースの右手首にはめられていた金色に輝く腕輪。複雑な魔法文字が刻まれており、魔導の知識が豊富なエルやフィンでも解読する事は出来なかった。

なぜかヒースの右手首にぴったりと付いており、留め金などなかったので外す事も出来ない。それにより、ヒースが記憶を失う前からこの腕輪を付けていた事が推測される。これを付けていても特に戦いで支障もないので、ヒースはこの腕輪の存在をあまり気にしていない。

ヒースの過去の手掛かりになると思われるが、今は謎が多過ぎて詳細は判明していない。

・魔法文字「呼称」

魔導の事について記述する時に使用される文字の事。元は太古の時代に使われていた文字である。魔導が古代に生み出された技術であり、そのため古代に使われた文字をそのまま使用していると考えられる。

様々な種類があり、例を挙げるとルーン文字やセレスティン文字、イーリアス文字など、一般的に使われているものは約30種類程。エルはこの中のほとんどの魔法文字をマスターしている。しかし、ヒースの腕輪に刻まれた文字は読めなかったため、この事から他にも知られていない魔法文字が存在している事が推測される。

たいていの魔導書がこの文字で記されているため、魔導に携わる者は特に勉強する必要がある。

・マイデラ湖「地名」

ミピエージェ大陸西部にある最大水深48m、面積38平方Kmのやや小さめな湖。アウザの村も含まれるバロキア山脈より流れるジュニル川の水が低地に溜まってできた湖である。

栄養分の多い地に染み出した水がそのまま湖の中に流れ込むので、湖の周辺は緑豊かな植物で生い茂っている。

・タマリア草「植物」

マイデラ湖の周辺のみが生息している網状脈の植物。葉先二股に

なっているのが特徴。

栄養価が高く、特に目に滋養効果があると言われている。読書ばかりしていたフィンの目を氣遣って、アラン祭司がよく彼に食べさせていた。水々しい葉なので、主にサラダなどで食べるのが一般的である。本編で語られていなかったが、エルがマイデラ修道院の食堂で頂いたサラダは、この植物がふんだんに使われていた。

・マイデラ修道院「建物」

ミピエージェ大陸西部のマイデラ湖の側に建っている由緒正しき修道院。築200年程は経ているらしく、かなり老朽化が進んでいる。ファルガーナによって世界が荒らされる前は、氷の神殿に参拝に来ていた旅人がよく宿泊しに尋ねてきていたという。

現在は修道院というより、孤児院のような施設になっている。アラン祭司が身寄りのない子供たちを引き取り、リディアンヌ教団の支援を受けながら、独り立ちできるようにするまで彼らのお世話をしていた。既に何十人もの子供がこの修道院を卒業して一人前に働いているという。

・アラン・ラクドール「人名」

マイデラ修道院の五代目祭司を勤めている老人。先代の祭司だった父の跡を継ぎ、彼が修道院を守っている。

穏やかで優しい性格であり、皆から慕われる子供想いの老人である。リディアンヌ教団の幹部だった経歴もあってか、教団からの信頼も厚い。しかし、若い頃は気性が荒く、聖職者なのに口調もかなり乱暴だったらしい。自分を後継ぎにしようとした父親に反発し、家出を繰り返していたという。

実はエルの祖父ファードの古い友人でもある。

・セイン「人名」

マイデラ修道院に預けられている少年。年齢は10歳で、修道院

に来てから3年が経つ。

とある小さな村で家族と共に暮らしていたのだが、ファルガーナ軍の襲撃を受けて家族は殺され、村は壊滅してしまったという過去を持つ。

性格は明るくてお調子者。当初、修道院を訪れていたヒースを冷たそうな見た目と態度から、少々怖がっていた。しかし、ファルガーナによるならず者に修道院を襲撃され、命が危うい所をヒースに助けられた事から彼に猛烈な憧れを抱くようになる。そして、ヒースたちが旅立つ際に、セインは彼と同じ強いファイターになる事を約束したのだった（ヒースは本来剣士なのだが、その時はたまたま体術で戦っていた）。

数年後、セインは世界に名を轟かせる程のファイターになる事を、今は誰も知らなかった。

・ファイター「クラス」

武器を持たず、体術で戦う者を指す。いわゆる格闘家の事。また、体術は拳技と蹴り技に分かれており、この両方を扱う者を格闘家と呼ぶ。

ヒースは剣士であるが、補助として主に蹴り技を使用している。

・トロール「魔物」

怪力を誇る体長4〜5m程の巨大な魔物。野生のものは集団グループとなって行動しており、その中のリーダーの指示に従って各山々を移動している。

巨大な体から繰り出される棍棒の打撃攻撃は、想像以上に凄まじい。また、分厚い皮膚に覆われているため、防御力もかなり高い。それにより、物理攻撃系による接近戦は不利である。体術で挑んだヒースがトロールを6体も倒せたのは、彼の実力があってからこそ
の芸当だといえるだろう。

防御力は高いが魔法攻撃にはめっぽう弱く、トロールと対峙した

時は魔法でガンガン攻めるのがオススメ。

ちなみに、人型とはいえ知能はやはり低く、だいたい人間の3歳児と同じくらいだという。

・治癒魔法「呼称」

傷や病を治し、癒す魔法の事。回復魔法とも呼ばれる。精神的な疲労や気絶などを治す事は出来ない。

”癒”の精氣リスベルを操り、それを対象者に与える事によって治している。治癒魔法は癒の精氣自体が直接傷や病を治すのではなく、ヒトの代謝を急速に高める事によって、傷や病を回復させる。つまり、治癒魔法は”人の生きる力”を高めるためにあるのである。それ故に致命傷を負わされたり、対象者の精神が極度に弱まっている時などは、治すには術者の魔力が余程高くなければ難しい。

また、癒の精氣は他の属性の精氣が複雑に結合したものであり、これを扱うには先天的な素質が必要である。

ちなみにこれらを専門に扱う者を治癒師ヒーラーという。

・魔導剣士「クラス」

剣技と魔法を駆使して、戦う者の事を指す。『氷の聖剣』を手にした事により、エルが魔導士からこのクラスに変わった。

熟練者になると、剣の奥義を極めて魔法も上級のものを使いこなせるようになるという。剣技に様々な属性の精氣を織り交ぜて戦う事ができ、普通の剣士とは一風変わった技を扱えるのが魔導剣士の特徴である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4491g/>

TALES OF CRIMSON:世界観&キャラ紹介

2010年10月10日21時26分発行